岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道　東城西城線　測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）

事業名 または 工事名 主要地方道　東城西城線　（道路改良・単独）

調査目的及び調査対象 道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	R4-B-1	**調査位置**	広島県庄原市東城町保田			**北緯**	34° 55′ 53.62″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2022年 11月 14日 ～ 2022年 11月 19日	**東経**	133° 10′ 51.87″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 588.46m	**角度**	180°（上）／0°（下）／90°	**方位**	北 0°／東 90°／南 180°／西 270°	**地盤勾配**	水平0°／鉛直 90°
総削孔長	19.00m	**使用機種**	試錐機：YBM YSO-1HA	**エンジン**	ヤンマーNFD-10	**ポンプ**	GP-5

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	地層名	記事	孔内水位／測定月日	ルジオン試験 ルジオン値	原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
	588.31	0.15		有機質土	茶褐～赤褐									上部、厩植土。以深、Φ20mm程度までの礫や草根を混じる固結した粘土状を呈した土砂。													
1	586.96	1.50		泥岩	赤褐	w5	h1	D	V	d		[0] (100)									115／B2	SCT/MC	0.4	160	0.0	W1／0	0
2					赤褐	w4	h1	D	IV	d	D	8 [0] (100)		泥岩はやや凝灰質で、塊状を示す。しかし、わずかに傾斜20°～45°のラミナが認められることもある。1.00m～1.70mは珪質泥岩が傾斜30°で挟在する。また、各所に古い固結した剪断帯が幅1～2cm、傾斜10°～20°でみられる。									90／B2						
3	585.01	3.45										6 [0] (100)															
												8 [0] (100)			11/17 3.00												
4	584.46	4.00			緑灰	w4	h1	D	IV	d				2.90m付近で全逸水後、復水。					11/16			WCT/MC.9B					
					緑灰	w4	h1	D	IV	c		10 [10] (100)		3.85m～4.00m間、コア脱落の為、打ち込みにて再採取。掘進時、半逸水～復水。													
5	583.46	5.00										5 [0] (100)															
6												3 [0] (100)															
7					緑灰	w3	h1	C	V	c		4 [0] (100)		7.45m～7.90m間、コアパック破損の為、乱れた状態。深度8.00mまでは赤褐色流入粘土が普遍的にクラックに沿って認められる。8.75m～9.00m間、コア脱落の為、打ち込みにて再採取。8.75m～9.30mは細かなクラックによる角礫化が進む。											0.4	260	1.0	W3／30	30
8												3 [0] (100)			11/18 7.98												
9												8 [0] (100)															
	578.76	9.70																	11/17								
10												5 [0] (100)															
11					緑灰	w3	h1	C	IV	c		8 [0] (100)		7.50m～12.00mは傾斜60°前後のクラックの他に90°のクラックが細かく加わる。12.70m～12.92mは傾斜60°、破砕幅5cmの断層があり、破砕部はφ10mm以下に角礫化する。しかし破砕部は半固結化する。													
12											CL	5 [0] (100)			11/19 12.63							WCT/DB					
13	575.46	13.00										6 [0] (100)															
14					緑灰	w3	h1	B	III	c		3 [0] (100)											0.4	260	0.1	W3／5	2
15	573.16	15.30										18 [38] (100)															
16					帯青灰	w3	h1	B	III	c		10 [10] (100)		16.60m～17.30mは傾斜45°、破砕幅1cm以下の剪断クラックが点在する。クラック沿いは褐色酸化が認められる。	11/21 16.35												
17	571.16	17.30																	11/18								
18					帯青灰	w2	h1	B	IV	b		11 [11] (100)															
												6 [0] (100)		17.00m以深は、クラックが多いものの岩芯は極めて硬い。クラック沿いの風化は孔底まで認められる。									0.6	260	0.1	W3／5	5
	569.46	19.00																	11/19								